

◆◆ 緑園バス運行推進近況報告 ◆◆

緑園バス運行推進協議会
会長 長谷川幹夫

少子高齢化が昂進してきている当緑園地区にとっての長年の悲願であります緑園バス誘致に向けて、緑園バス運行推進協議会は、横浜市道路局及び泉区区政推進課のご指導・ご協力をいただきながら、鋭意取り組んでおります。路線バスの試験運行を開始した昨年末以降の経緯につき、ご報告させていただきます。

<路線バスの試験運行>

昨年12月1日より3カ月間にわたり、相鉄バス(株)により試験運行が行われました。また、神奈中(株)による試験運行が2月1日よりスタートし、4月30日に終了しました。

神奈中(株)による試験運行がスタートした当日は好天に恵まれ、緑園都市駅前では、関係者が乗車し、車内は喜びに包まれていました。

両社による試験運行に際しては、住民の皆様にご協力いただき、感謝申し上げます。試験運行期間中は、両社により利用データが収集され、本格運行の可否判断の資料として用いられる予定です。

<緑園バス運行推進新春フォーラム開催>

1月31日(日)、緑園バス運行推進協議会主催、横浜市道路局・泉区役所後援緑園バス運行推進新春フォーラムが緑園四丁目西の街ホールを会場として開催されました。総合司会の鈴木清文氏による開会の辞でスタート、長谷川会長挨拶、来賓の泉区区政推進課課長大蔭直子氏挨拶、同じく八谷道紀連合会長挨拶の後、パネルディスカッションに移りました。道路局係長高橋陽太氏より「横浜市の取組、地域交通サポート事業」について説明があり、長谷川会長からは「緑園路線バス誘致のこれまでの経緯と今後の予定について」報告。元下和泉住宅自治会々長佐久間幹雄氏より、「Eバスの発足経過、コミバスから路線バスへ発展」について紹介されました。最後にコメンテーターの山路清貴氏よりコメントいただきました。会場には多くの住民の皆さんはじめ、バス運行事業誘致に取り組んでいる中川連合町内会や新橋連合自治会からも参加いただき大いに盛り上がりました。また、会場でお願ひしたアンケートでは、多くの皆さんから貴重なご意見をいただきました。

試験運行の概要

No.	社名	運行期間	運行ルート(区間)
1	相鉄バス(株)	12月1日 ~02月29日	二俣川~緑園循環 ~二俣川(往復)
2	神奈中(株)	02月1日 ~04月30日	弥生台~緑園循環 ~弥生台(往復)



神奈中バス



社内の様子



総合司会の鈴木氏



来賓・パネラーの皆さん



会場の様子



<緑園バス運行推進アンケート調査及び今後の予定について>

この度緑園各自治会の多大なご協力のもと実施のアンケート調査では、1,671名にのぼる多くの方々からご回答をいただきました。お寄せいただいたご意見をもとに、本運行に向けての今後の予定ですが、それぞれのバス会社が、本年夏ごろまでには本格運行するか否か判断するものと思います。協議会役員一同、今後も本運行に向けて粘り強く活動し、皆さまのご期待にそえるよう頑張る所存です。これからも、ご協力お願い申し上げます。

◆◆ 緑園小学生作文コンクール報告 ◆◆

緑園地区活性化委員会主催平成27年度緑園小学生作文コンクールは、全日程を終了しました。今年度も、緑園東小学校、同西小学校及び各学校区の各自治会、町内会のご協力をいただき、応募総数901点の作品が集まりました。

テーマは、これまで同様「わたくしたちのふるさとこのまちをしっかりとみらいにつなげよう」です。多くの作品の中で、この「まち」が好きでここに住めて良かったといった思いが表現されていました。すなわち、自然環境の良さや「まち」の人々との触れ合い、日頃お世話になっている地域の人々への感謝や、自分の未来と重ね合わせながら、学び感じる姿勢が読みとれました。

審査では、まず両校の推薦で120点に絞られ、7名の審査員により厳正な審査が行われました。その結果、審査員特別賞1名、優秀賞10名、入選25名、佳作84名の受賞が決まりました。

1月9日(土)、表彰式が緑園四丁目西の街ホールにて開催されました。来賓として泉区区長下村直氏、横浜緑園総合高校校長遠藤誠氏、岡津中学校校長八嶋牧男氏、緑園東小学校校長副島江理子氏、同西小学校校長小宮寛之氏、横浜市教育委員会西部学校教育事務所指導主事小林雅弘氏ほか多くの方々に臨席いただきました。長谷川幹夫委員長から入選した児童に賞状及び記念品が授与され、特別賞、優秀賞の児童が作文を朗読、披露し式を終了しました。

本コンクールに当たっては、泉区区政推進課、地域振興課のご指導、ご協力をいただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

なお審査員特別賞、優秀賞、入選の作品につき、入選作品集に編纂しました。また各作品を緑園地域交流センターに展示しておりますので、ごらんください。

なお審査員特別賞、優秀賞、入選の作品につき、入選作品集に編纂しました。また各作品を緑園地域交流センターに展示しておりますので、ごらんください。

審査員特別賞、優秀賞の皆さん (敬称略)

学年	賞	氏名	題名
1	優秀	寺島璃乃	まちぴか
1	優秀	茂木幹久	ゴーヤのなえ
2	優秀	安田柚葉	りよく園のみどり
3	優秀	土屋文乃	ベルデュールのパン屋さんのひみつ
3	優秀	鈴木梨緒	町の役に立つ花プロジェクト
3	優秀	山本陸玖	地いきの人とうえた花
3	優秀	渡邊 成	おいしいよおじいちゃんのお野菜
4	審査員特別	櫻木陽也	緑園の自然からのおくりもの
5	優秀	阿部裕佳	ありがとう、夏の思い出
5	優秀	徳田帆香	稲を育てて思った事
6	優秀	松井駿希	町の人達

審査員 (敬称略)

役職	氏名
審査委員長	長谷川幹夫
審査員	江原真樹
審査員	松橋知慧
審査員	大杉美智
審査員	坂田泰美
審査員	大嶋裕司
審査員	横尾四郎



会場の様子



下村区長のご挨拶



審査員特別賞の櫻木さん

◆◆ 3地区合同マラソン大会が開催されました ◆◆

2月6日(土)、中川・新橋・緑園3地区合同マラソン大会が緑園東小学校校庭・中学校建設予定地・五丁目周辺道路を会場にして開催されました。緑園地区活性化委員会、中川、新橋両経営委員会主催、緑園都市コミュニティ協会(RCA)、緑園スポーツ文化クラブ(RSC)、各地区スポーツ推進委員等の各種団体後援で企画され、出場者250名、大会関係者、応援者を含め総勢約500名の盛会となりました。開会式では、来賓として臨席いただいた泉区区長下村直氏はじめ皆様にご挨拶いただきました。

表彰式では各種目の上位入賞者に、記念品が授与されました。

当日は、早朝より3地区有志により豚汁が用意され、出場者、来場者にふるまわれました。



挨拶される下村区長



出場する選手たち



表彰式の様子

平成28年度(第11回)緑園連合自治会総会を下記の日程で開催致します。

開催日時 : 5月21日(土)14:00~

会場 : サン・ステージ西の街ホール

◆◆ 横浜市立緑園西小学校訪問記 ◆◆



西小前バス停

去る2月5日(金)、翌月に卒業式の挙行を控え、何かと慌ただしい中でのお時間をいただき、長谷川が緑園西小学校に取材にお邪魔しました。同校は平成6年4月1日に緑園三丁目の丘の上に建設されました。緑園都市駅からは徒歩で登れば数分で行ける距離ですが、試験運行周回バスに乗り、西小学校前で降りて行きました。

その日は良く晴れて、ぬけるような青空に高くそびえる時計台が、帰宅中の子どもたちを見守っているようでした。2年前の作文コンクールの入選作品の中で、「ぼくはこの時計台が気に入っています。なぜなら、大きくて、見やすいからです。中休みに遊んでいても、みんな時計台を見て行動しています。」と書いた子がいるのを思い出しました。そういえば、同校では時間をチャイムで知らせないことになっていることと符合していることに気が付きました。よく見ると、時計が2個(東と南を向いて)付いていて、両方向から見られるようになっています。南側から一枚写真を撮らせていただくと校長室に案内されました。



時計台

すでに、小宮寛之校長と吉田静子副校長、教務主任山下謙一郎氏がおいでになり迎えてくださいました。小宮校長は、昨年4月1日付で着任されて来られました。同校の印象は、きれいな街なみ、緑の中で、子どもたちが明るく素直で、地域の方々の教育力に支えられているとのことでした。前任の栄区公田小学校は全児童数270人ほどの比較的小規模の学校に対し、西小学校は現在491名で、市内では中規模校とのことでした。学校教育の重点目標は「わくわく・どきどき・かがやこう 自分を見つめ生きる喜びを実感しながら心豊かに育つようにします」です。「ひとりひとりの持っている潜在能力を引き出してあげる。いろいろな活動を通して、体験する中で、創意工夫しながら一定の成果が得られれば、自信につながって一段上のレベルを実感するといった好循環を求めて行く。そのためには、できるだけ子どもと一緒に過ごし接する時間が持てればよい」とのことです。ご多分にもれず、教職員は大変忙しく、帰りも遅くなりがちの中で、子どもたちの成長を助け、中学校に送り届ける使命があり頑張っていると強調されていました。西小学校の明るい未来を感じながら帰路につきました。



左から山下教務主任、小宮校長、吉田副校長

◆◆ 各自治会の行事報告 ◆◆

緑園四丁目西

1月10日(日)、四丁目西の街コミセン前滝前広場にて、新春恒例の餅つき大会が開催されました。多くの住民の皆さんが見守る中で、威勢の良い掛け声に合わせもちが搗かれました。

できたもちは、あんもち、黄粉もち、のりもち、白もちの四種に手作りされ、ふるまわれました。会場では、枥酒やお汁粉、甘酒なども用意され、あちらこちらで話の輪ができていました。



会場の風景



子供達もがんばりました

緑園四丁目東

1月10日(日)、四丁目東の街コミセン前広場にて、恒例の餅つき大会が開催されました。会場には多くの皆さんが詰めかけ、にぎやかなムードに包まれました。お揃いの赤いジャンパーを着たスタッフが、各ブースでおもてなしに励んでおられました。

この日は、もちの他樽酒、甘酒、豚汁、綿あめ、お汁粉が振る舞われました。また会場では坂の駅ポンテによる新鮮野菜の販売も行われ、飛ぶように売れていました。



威勢よく餅が搗かれました



坂の駅ポンテも出店

◆◆ 「街カフェ・春」が開催されました ◆◆

4月16日(土)、緑園都市「えきばた会議」街カフェ実行委員会主催、緑園地区活性化委員会・横浜市・相鉄グループ後援「街カフェ」が緑園都市駅前 相鉄ライフ前広場にて開催されました。「私たちの街を元気にしたい！」という思いから行われた緑園都市「えきばた会議」。そのアイディア実現第1弾である「街カフェ」は今回で4回目を迎えました。当日は、朝からさわやかな晴天に恵まれ、多くのお客様でにぎわいました。

今回は、プチドゥルさんと「街カフェ」がコラボ企画したパン、和菓子司こやまさんとコラボした街カフェ焼印入り饅頭、フェリス女学院大学のフェリス・フェアトレードのコーヒーやクッキーなどを販売。「たけB+」のハンドメイドショップとワークショップの他、DELICIOUS KNOT!のアイシングクッキーも出店しました。一方、ステージでは、フェリス女学院大学の2人の学生さんによる司会でオープニング。地域の保育園児、小学生、中学生、高校生、一般のグループなど、各団体による演技が披露されにぎやかな街のイベントとなりました。



販売スタッフの皆さん



小学生によるソーラン踊り



歌を披露する保育園児たち

《「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」関連行事経過の概要》

平成25年に横浜市と相鉄HDの包括連携協定が締結され、相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市の事業がスタート。相鉄いずみ野線沿線地域において、市民、企業、大学、行政がアイデアや意見を出し合い、協働でまちづくりの取組を進めています。

緑園都市駅周辺では、平成26年、緑園都市「えきばた会議」が3回にわたり開催され、出されたアイデアや意見が「12のアイデア集」としてまとめられました。同年秋には、アイデア実現第1弾として第1回「街カフェ」を開催。以降、毎年春・秋の2回の予定で開催してきました。

平成27年度には、アイデア実現第2弾「緑園いきいきマップ」の活動をスタートしました。同年、まちづくりフォーラム(フェリス女学院大学・キダーホール)では、緑園都市駅周辺の取組成果を発表しました。

◆◆ 環境事業施設見学会が開催されました ◆◆

3月17日(木)、緑園地区環境事業推進委員会主催施設見学会が開催されました。総勢約20名でバスに乗り込み、まず横浜市南部汚泥資源化センター(金沢区幸浦)の施設を見学しました。市内の南部エリアで発生する下水が当センターに集められ、処理される工程につき説明を受け、処理現場を見て回りました。午後は、横須賀市資源環境部リサイクルプラザ「アイクル」(横須賀市浦郷町)を見学しました。この施設では、市内で出る缶・びん・ペットボトルを一括して処理しています。

一同、自分たちが日頃出している污水や資源ごみが処理されている工程をつぶさに見て、環境事業の仕事の重要性を再確認致しました。



下水タンク



「アイクル」の説明

編集後記

Vol.24は、年始の行事を中心に特集しました。次号は7月15日発行予定です。連合自治会総会等について特集する予定です。熊本地震では、改めて災害の怖さを感じるとともに、備えの重要性を再認識しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

【編集委員】伊藤正男、長谷川幹夫、田谷善宏、畑 浩太